

岩手医科大学歯学雑誌投稿規定（抜粋）

- 1) 投稿資格 本会会員に限る。
 - 2) 投稿の種類 総説, 原著, 予報, 症例報告, 講座, トピックスなど。
 - 3) 論文の内容 投稿は他誌に未発表のもので, 簡潔平易な記述が望ましい。
 - 4) 執筆規定 (既刊の本誌参照)
 - a) 原稿の形成は表紙, 抄録, 本文, 英文抄録, 文献, 図表の順序とし, コピー1部を添える。
 - b) 表紙の記載順序は和文題名, 著者名, 所属名, 欧文題名, 著者名ローマ字, 欧文所属名, 所属住所とする。
 - c) 原稿は和文 (所定の用紙—編集委員会で配布) または英文 (A4版厚手のタイプ用紙にダブルスペースでタイプする) とする。
 - d) 和文原稿には200語程度の英文抄録, 英文原稿には800字以内の和文抄録をつける。また和文原稿には和文で, 英文原稿には英文で方法, 結論を含んだ400字または200語程度の抄録を本文の前につける。最後に3~5語の英語によるKey wordを添える。
 - e) 書体と用語 明瞭な字体で, 口語体, ひらがな文で書き, 学術用語はなるべく各学会制定のものを用いる。薬品名などは一般名を使用する。本文中の欧語は必ずタイプで記入する。
 - f) 単位はメートル法に準じ, 記号のあとにはピリオドをつけない。次の例に準ずる。m mm μ m nm; l ml; kg g μ g; % mM ppm; hr min sec; °C R Ci
 - g) 図表の大きさの限度は, 刷上り1頁以内におさまるようにする。黒インクできれいに書き, 原稿の欄外にその挿入箇所を図1, 表1のように朱書する。写真倍率は最終印刷時の拡大率を示すようにし, 写真 (Plate) という項は作らない。
 - h) 引用文献は引用箇所の右肩に引用順に番号をつけ (...¹⁾, ...²⁻⁵⁾, 本文末に引用順にまとめる。本文中の引用は, 著者が3名以上のときは1名だけの姓と…ら, または…et al. とする。文献欄には共著者全員の名前を書く。
- 例1) 野坂洋一郎: 歯内の微小循環, 岩医大歯誌, 3: 40-50, 1978.
- 2) Boyde, A. and Reith, E. J.: Scanning electron microscopy of rat maturation ameloblast. *Cell and Tissue Res.* 178: 221-228, 1977.
- 3) 荒谷真平: 歯の形成, 押鐘篤監修: 歯学生化学, 第1版, 医歯薬出版, 東京, 185-211, 1976.
- 4) Goldman, H. M. and Cohen, D. W.: Periodontal therapy, 5th ed., Mosby co., St. Louis, 246-276, 1973.
- 5) 原稿の採否はレフェリーの意見を参考にして編集委員会で決定する。
 - 6) 校正 原則として再校までを著者校正とするが, 原文の著しい変更あるいは追加を認めない。
 - 7) 投稿票 原稿とは別に添えること。①論文の種類 (総説, 原著, 症例報告など) ②表題 ③著者名 ④原稿総頁数 ⑤図, 表, 写真の各枚数 ⑥印刷希望数 (50部単位) ⑦連絡先を記入する。
 - 8) 投稿の手引 詳細な投稿の手引は別途請求下さい。
 - 9) 原稿の送付先 〒020 盛岡市中央通1丁目3-27 岩手医科大学歯学部内 岩手医科大学歯学雑誌編集委員会に持参または書留で送付すること。

次号誌 (第10巻1号) について

投稿締切 昭和60年1月15日

発行予定日 昭和60年3月15日

本号誌247頁の投稿の手引きに従ってご執筆下さい。所定の原稿用紙は学会事務局(歯学部A棟4階歯学部長室副室)に備えてありますのでお申し出下さい。

岩手医科大学歯学会編集委員会